

書美術

題字は福島慎太郎初代理事長

第52回「日本の書展」を開催

直轄展入場者は過去十年で最多

第52回「日本の書展」直轄4展の入場者は10年ぶりに1万7千人を超え、盛況裏に終了。コロナ禍を乗り越え、ユネスコ無形文化遺産への提案と共に書道界に活気があふれた。

令和6年5月から7月に開催された関西展、中部展、東京展、九州展の直轄4展の総入場者数は1万7435人にのぼり、平成26年以降で最多となった。また、総出品数も3812点となり、平成25年以降で最多となった。開催披露祝賀会の出席者数も前回に続き1500人を超え、コロナ禍の影響はなくなり、近年にない盛況な開催となった。長年の悲願であった書道のユネスコ無形文化遺産への提案が令和6年3月末に行われ、大きく報道されたことと相まって、書道界の盛り上がりが反映

されたといえよう。(役職名は開催当時のもの)

関西展

令和6年5月1日(水)

5月3日(金・祝)

会場 マイドームおおさか(1・2階展示ホールA・D)

主催 (公財)全国書美術振興会・産経新聞社

後援 文化庁・大阪府協賛 (公社)日本書芸院

○ギャラリートーク

5月2日(木)

福光幽石評議員(漢字・現代書

壇代表

出品数は、現代書壇巨匠18点、現代書壇代表109点(計127点が全展を巡回)、委嘱41点、招待467点、秀拔選

公益財団法人
全国書美術振興会
会報
第42号

令和7年2月1日発行
発行者(公財)全国書美術振興会
編集責任者 片山純一
東京都港区赤坂2-11-1
デルックス溜池山王6階



私たちは「日本の書道文化」のユネスコ無形文化遺産登録を応援しています。



児玉大輔文化庁参事官



伊藤富博産経新聞社事業本部
エグゼクティブプロデューサー



土橋靖子理事



黒田賢一常務理事

556点、合計1191点、入場者数は1866人と前回より約3割増えた。産経新聞紙面で展覧会紹介をしている。
会期初日の5月1日(水)、スイスホテル南海大阪「浪華」で488人の出席による開幕祝賀会を行った。高木聖雨代表理事・理事長、田中壮一郎代表理事・会長から主催者挨拶、産経新聞社伊藤富博事業本部エグゼクティブプロデューサーの共催者挨拶、文化庁児玉大輔参事官

の来賓祝辞、黒田賢一常務理事の書家代表挨拶後、土橋靖子理事の乾杯発声で祝宴に入り、真神巍堂常務理事の閉会挨拶で終了した。

中部展

令和6年5月28日(火)

5月2日(日)

会場 愛知県美術館ギャラリイ(愛知芸術文化センター18階A・J)



ギャラリートーク 福光幽石評議員



真神巍堂常務理事

主催 (公財)全国書美術振興会・
中日新聞社
後援 文化庁・愛知県・東海テ

レビ放送
協賛 (公社)中部日本書道会
○ギャラリートーク



鬼頭翔雲評議員



神田真秋中部日本書道会名誉会長



古田真一中日新聞社事業局局次長



ギャラリートーク 吉澤劉石先生



伊藤仙游評議員



吉田明弘東海テレビ放送取締役事業局長

令和6年6月13日(木)
6月23日(日)
会場 国立新美術館(展示室1 A1D)
主催 (公財)全国書美術振興会・
共同通信社
後援 文化庁

東京展

6月1日(土)
吉澤劉石先生(かな・現代書壇代表)
出品数は、巨匠、代表の127点、委嘱14点、招待195点、秀拔選422点、合計758点、会期中の入場者数は2845人だった。初日は台風が直撃して入場者が少なかったが、会期全体では前回を上回った。中日新聞紙面での展覧会紹介、東海テレビ放送の放映があった。
5月28日(火)、名古屋東急ホテル「ヴェルサイユ」で322人の出席による開幕祝賀会を行った。田中会長の主催者挨拶、中日新聞社古田真一事業局局長の共催者挨拶、中部日本書道会神田真秋名誉会長の来賓祝辞、鬼頭翔雲評議員の書家代表挨拶後、東海テレビ放送吉田明弘取締役事業局長の乾杯発声で祝宴に入り、伊藤仙游評議員の閉会挨拶で終了した。



三土正司共同通信社代表取締役社長



高木聖雨代表理事・理事長

○ギャラリートーク
①6月15日(土)
角元正燦理事(漢字・現代書壇代表)
②6月22日(土)
下谷洋子先生(かな・現代書壇巨匠)
出品数は、巨匠、代表の127点、委嘱49点、招待668点、秀拔選905点に加え、関西展、中部展、九州展の委嘱63点も同時に展示し、総展示数は1812点になった。入場者数は1万262人となり、13年ぶりに1万人を超えた。
6月13日(木)、オークラ東京「平安の間」で596人の出席による開幕祝賀会を行った。
高木理事長の主催者挨拶に始まり、共同通信社三土正司代表取締役社長の共催者挨拶へと続き、盛山正仁文部科学大臣、塩谷立書道国會議員連盟会長の来賓祝辞があり、黒田賢一常務理事の書家代表挨拶、河村建夫書道国會議員連盟名誉会長の乾杯



塩谷立書道国會議員連盟会長



盛山正仁文部科学大臣



星弘道常務理事



河村建夫書道国会議員連盟名誉会長



盛山文部科学大臣はじめ書道国会議員連盟の方々

九州展

令和6年7月2日(火)

～7月7日(日)

発声で祝宴に入った。書道国会議員連盟からは、このほか加藤勝信会長代行、末松信介会長代行、関芳弘事務局長に出席いただいた。星弘道常務理事の閉会挨拶で終了した。



ギャラリートーク 下谷洋子先生



ギャラリートーク 角元正燦理事

第1会場 福岡市美術館(2階
ギャラリーB～F)
第2会場 福岡県立美術館(3
階展示室1～4号室)
主催 (公財)全国書美術振興会・
西日本新聞社
後援 文化庁・福岡県
○ギャラリートーク
7月3日(水)
岩田海道評議員(漢字・現代書
壇代表)



安武弘子西日本新聞社執行役員企画事業室長



田中壮一郎代表理事・会長

出品数は、巨匠、代表の12
7点、委嘱8点、招待142点、
秀拔選217点、合計494点、
会期中の入場者数は2462人
だった。西日本新聞紙面で展覧
会紹介をしている。
7月2日(火)、ホテルオー
クラ福岡「平安の間」で129
人の出席による開幕祝賀会を
行った。高木理事長、田中会長
の主催者挨拶、西日本新聞社安



西高辻信宏太宰府天満宮宮司



富田淳九州国立博物館館長



ギャラリートーク 岩田海道評議員



松清秀仙評議員



石原進福岡市文化芸術振興財団理事長

武弘子執行役員企画事業室長の共催者挨拶、九州国立博物館富田淳館長および太宰府天満宮西高辻信宏宮司の来賓祝辞、福岡市文化芸術振興財団石原進理事長の乾杯発声で祝宴に入り、松清秀仙評議員の閉会挨拶で終了した。

公募臨書（東京展会場内）

令和6年6月13日（木）

（6月23日（日））

会場 国立新美術館（展示室1Dの一部）

主催（公財）全国書美術振興会
後援 文化庁

書の基本である臨書に限った公募展で、今回が13回目。応募数は1163点と、前回に引き続き千点を超えた。当会役員で構成される審査員7名による厳正な審査が行われ、その中から480点（漢字349点、かな103点、篆刻28点）が入選し、表装された作品は第52回「日本の書展」東京展の会場内に前期と後期に分けて展示された。作品は展示終了後、入選證と一緒に入選者に届けられた。

巡回展

「日本の書展」は、直轄4展

終了後、現代書壇巨匠、現代書壇代表の作品が、全国各地を巡回している。地元有力作家の作品を加えて、当会と共同通信社、地元各新聞社の共催、文化



島根会場



富山会場

庁後援のもと巡回展を開催している。第52回展のスケジュールは次の通り。今号では、各展の会場風景を一部紹介する。開会式ではテープカットや書家によ



青森会場



広島会場

るデモンストレーションも行われ、賑やかに開催されている。島根（山陰中央新報社）令和6年8月22日～8月26日 島根県立美術館ギャラリー



岡山会場



長野会場（51回展）

富山（北日本新聞社）令和6年9月14日～9月16日 富山県民会館 青森（東奥日報社）令和6年9月20日～9月23日



奈良会場（51回展）



茨城会場（51回展）

News TOO ジル 3階催事場

広島（中国新聞社）

令和6年10月1日～10月6日

広島県立美術館県民ギャラリー

岡山（山陽新聞社）

令和6年10月16日～10月21日

天満屋岡山店 6階葦川会館

長野（信濃毎日新聞社）〓予定

令和7年3月7日～3月10日

長野県立美術館

奈良（奈良新聞社）〓予定

令和7年3月26日～3月30日

奈良県コンベンションセンター

茨城（茨城新聞社）〓予定

令和7年4月12日～4月14日

ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県立県民文化センター）

子どもの毛筆体験教室 「筆もじにトライ！」

2024 開催

令和6年8月16日（金）～18日（日）

会場 国立オリンピック記念青

少年総合センター スポーツ棟

地下1階「第3体育室」

スケジュール

8月16日（金）

A 11時00分～12時30分

B 14時30分～16時00分

8月17日（土）

C 11時00分～12時30分

D 14時30分～16時00分

8月18日（日）



E 10時00分～11時30分

F 13時30分～15時00分

今回は、前回より広い会場に変更し、参加対象の上限を小学校3年生から4年生まで引き上げ、その保護者も参加対象として募集した。申込みの段階では満員のコースもあったが、体験初日は台風が関東へ接近する予報が出ていたためキャンセルが相次ぎ、また、体験2日目と3日目も台風一過の影響により猛暑日となったため、キャンセルが発生した。キャンセルにより空いた席を利用して、急遽申込みのなかった保護者にも体験に参加してもらった結果、3日間で260人に体験してもらったことができた。

今回はうちわだけでなく、色紙と羽子板の3種類の台紙を準備し、その中から2種類を参加者を選んでもらった。また、体

験時間を70分から90分に拡大し、書いた作品をより際立たせるための切り絵を貼り付けるプログラムを取り入れた。
水書用紙で練習し、墨を磨り、お手本の文言や自分の名前や好きな言葉を台紙に書き、切り絵を貼り付けて、はんこ（スタンプ）を押し、オリジナルの筆もじ飾りを完成させた。

日本書道ユネスコ登録 推進協議会の活動報告

「書道」のユネスコ無形文化遺産登録についての決定は令和8年12月頃の見込み

我が国からのユネスコ無形文化遺産への提案は近年では2年に1件とされ、1年目に提案された案件が2年目も再提案されるようになっていく。令和6年3月に日本政府から提案された「書道」についても同様に、文化審議会無形文化遺産部会における審議等を経て、令和7年3月末に「書道」がユネスコに対して無形文化遺産として再提案されると見込んでいる。

その後、ユネスコにおける専門的な審議が行われ、令和8年12月頃にユネスコ無形文化遺産の登録について決定する見込みである。

日本書道文化協会の活動 報告（令和6年1月以降）

日本書道文化協会は令和3年8月26日に設立され、同年12月



特別揮毫会（香川会場）明石聴濤会員



特別揮毫会（香川会場）藤川翠香会員



特別揮毫会（香川会場）小竹石雲会員



特別揮毫会（山形会場）田中節山参与



特別揮毫会（山形会場）吉澤劉石会員



特別揮毫会（山形会場）渡部會山会員

に初の登録無形文化財に登録された「書道」の保持団体として文部科学大臣から認定されている。書道の伝統的な書法を受け継ぎ、未来へとつないでいくた

めに、書道の技の保存と向上を図ることを目的として、積極的な活動を展開している。

【令和6年度の登録無形文化財「書道」特別揮毫会の開催Ⅱ文化庁補助事業】

（香川会場）サンポートホール高松

令和6年10月14日（月・祝）



岡山東商業高等学校 仲川恭司常務理事



桐蔭高等学校 植松龍祥会員

13時30分～15時30分
参加者285名

講師・揮毫者Ⅱ明石聴濤会員、
藤川翠香会員、小竹石雲会員
（山形会場）山形テルサ

令和6年10月24日（木）
13時30分～15時30分

参加者333名

講師・揮毫者Ⅱ田中節山参与、
吉澤劉石会員、渡部會山会員



青森高等学校 有岡郊崖会員



弘前高等学校 金子大蔵会員

【高等学校等への会員書家の派遣事業の実施Ⅱ文化庁補助事業】

令和6年4月14日（日） 岡山県

立岡山東商業高等学校
講師Ⅱ仲川恭司常務理事

令和6年8月10日（土） 和歌山
県立桐蔭高等学校（星林高等学校、和歌山商業高等学校と合同）

講師Ⅱ植松龍祥会員
令和6年9月29日（日） 青森県

立青森高等学校
講師Ⅱ有岡郊崖会員

令和6年11月16日（土） 青森県
立弘前高等学校
講師Ⅱ金子大蔵会員

【街なか書道体験の実施】

「書道」を保護継承していくために、街なかでの書道体験の場を作っていく事業「街なか書道体験」を実施。「般若心経」と「いろは歌」のなぞり書きができるように、著名書家の手本を基に制作した用紙に、いろいろな場所、施設を訪れた方や通りすがりの方に書道体験ができるようにしている。様々な書道関連イベント会場内において書道体験コーナーを設けて実施している。

実施例

▼国立オリンピック記念青少年総合センター主催「春のキックフェスタ2024」（令和6

年5月開催）で実施。体験者約600人

▼公益社団法人日本書芸院主催「全国シルバー書展」「手書き文字ばんざい！」等のイベントにおいて実施（令和6年9月～11月）。体験者約300人

▼和文化国際交流会がアイルランドの中学高校などで実施（令和6年10月）。体験者約50人



街なか書道体験

【書道文化に関する研究助成を実施】

日本の伝統的な書道文化、書法の継承や普及、発展、書道教育等に寄与することを目的として、次代を担う40歳未満の若手の研究者、書家の育成を図るた

めに「研究助成」を実施。令和5年4月からの募集に対して10件の申請があり、厳正な審査の結果3件を採択した。研究助成金1件30万円を支給し、約1年かけて論文を作成し、専門家による査読を経て論文集を発行、協会ホームページにも掲載することとしている。

研究論文作成者（年齢は採択時）

・尾川明穂（筑波大学芸術系准教授 39歳）

「日常書と表現の書をつなぐ―細字を基本とする毛筆書写指導法の開発に向けて―」

・河島由弥（帝京大学文学部日本文化学科 非常勤講師 32歳）

「教育文化としての書き初め―信仰と学びの場の形成過程―」

・前川知里（佐久市立近代美術館 学芸員 33歳）

「博物館における近代以降の日本の書作品の位置付けと活用の実態について」

【会員数等の状況について】

令和6年12月31日現在

正会員数255名

賛助会員数 団体会員63団体

（77口）、個人会員7名（11口）

○日本書道文化協会事務局

全国書美術振興会内に置く

住所・電話・FAXは本会報の

巻末参照

メールアドレス

info@nihonshodobunka.jp

ホームページ

<https://www.nihonshodobunka.jp/>

書写・書道教育推進

協議会の活動報告

(令和6年1月以降)

小学校3年以上の書写に係る書写指導のガイドラインテキストの完成、配布

文部科学省から教員研修用の指導テキスト作成の提案を受け、作業部会を設けて、小学校3年以上の書写指導のガイドライン(教員研修用テキスト)を作成し、令和6年3月に完成した。

テキストの内容は、協議会ホームページからダウンロードできるようにしており、また、テキストにあるQRコードを読み込むことにより、動画で指導方法を見ることができるようにした。このテキストを、文部科学省担当課の協力を得て、教員養成大学学部へ配布するとともに、文部科学省主催都道府県教育委員会指導主事会議で配布紹

介を行った。

次期学習指導要領改訂に向けた検討

次期学習指導要領の改定に向けて、各関係団体における要望項目をまとめる作業をしており、令和6年6月に小委員会を実施し、各団体での進捗状況や提案項目についての自由討議を行った。今後、中央教育審議会における指導要領改訂に向けた審議を踏まえつつ、要望項目をまとめていく予定である。

展覧会案内

第53回「日本の書展」(予定)

※開催内容が変更となる場合あり。

関西展

令和7年5月6日(火・祝)

5月8日(木)

会場 マイドームおおさか(1・2階展示ホールA～D)

10時～17時「最終日は16時まで、入場は各日とも閉場30分前まで」

主催 (公財)全国書美術振興会、産経新聞社

後援 文化庁、大阪府

協賛 (公社)日本書芸院

○開催披露祝賀会

5月7日(水) 17時30分～

リーガロイヤルホテル3階「光琳の間」

○ギャラリートーク

5月6日(火・祝) 14時～

松村博峰評議員(漢字・現代書壇代表)

九州展

※2会場で開催

〈第1会場〉福岡市美術館(2階ギャラリーA～F)

現代書壇巨匠、現代書壇代表、委嘱を展示

令和7年5月27日(火)

5月1日(日)

9時30分～17時30分「入場は各日とも閉場30分前まで」

〈第2会場〉福岡県立美術館(3階展示室1～4号室)

招待、秀拔選を展示

令和7年5月28日(水)

6月1日(日)

10時～18時「最終日は16時まで、入場は各日とも閉場30分前まで」

主催 (公財)全国書美術振興会、西日本新聞社

後援 文化庁、福岡県

○開催披露祝賀会

5月28日(水) 12時30分～

西鉄グラนด์ホテル2階「プレジール」

○ギャラリートーク

5月29日(木) 14時～

第1会場 福岡市美術館

吉田成美評議員(近代詩文・現代書壇代表)

中部展

令和7年6月4日(水)

6月8日(日)

会場 愛知県美術館ギャラリー

(愛知芸術文化センター8階展示室A～I)

10時～18時「最終日は16時まで、入場は各日とも閉場30分前まで」

主催 (公財)全国書美術振興会、中日新聞社

後援 文化庁、愛知県、東海テレビ放送

協賛 (公社)中部日本書道会

○開催披露祝賀会

6月4日(水) 18時～

名古屋東急ホテル3階「ヴェルサイユ」

○ギャラリートーク

6月5日(木) 14時～

近藤浩平先生(かな・現代書壇代表)

東京展

公募臨書

令和7年6月12日(木)

6月22日(日)

〈17日(火)は休館日〉

会場 国立新美術館(展示室1A～1D)

10時～18時「入場は各日とも閉場30分前まで」

主催 (公財)全国書美術振興会、共同通信社(東京展のみ)

後援 文化庁

○開催披露祝賀会

6月15日(日) 12時～

グラนด์プリンスホテル新高輪地下1階「飛天」

○ギャラリートーク

6月14日(土) 14時～

岩井秀樹先生(かな・委嘱)

6月21日(土) 14時～

赤平泰処先生(漢字・現代書壇代表)

巡回展

現代書壇巨匠・現代書壇代表の全作品が、当会と共同通信社、地元各新聞社の共催、文化庁後援のもと全国を巡回。

鳥取(山陰中央新報社)

令和7年8月29日～9月1日

米子市美術館

富山(北日本新聞社)

令和7年9月26日～9月28日

富山県民会館

広島(中国新聞社)

令和7年10月7日～10月12日

広島県立美術館県民ギャラリー

岡山(山陽新聞社)

令和7年10月15日～10月20日
天満屋岡山店 6階韋川会館
青森（東奥日報社）

令和7年10月31日～11月3日
New's TO-Oビル 3階催事場

奈良（奈良新聞社）

令和8年2月23日～2月27日

奈良県コンベンションセンター

長野（信濃毎日新聞社）

令和8年3月6日～3月9日

長野県立美術館

茨城（茨城新聞社）

令和8年4月11日～4月13日

ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県立県民文化センター）

子どもの毛筆体験教室 「筆もじにトライ！」

2025（予告）

初めて毛筆に触れる子どもや毛筆経験が浅い子どもを対象とした書道体験教室。丸や四角の形をした台紙や色紙に、墨と筆で文字や線などを書き、千代紙を手でちぎり飾り付けをし、筆もじ飾りを仕上げる。書道に関するクイズ、水書きシートや墨磨り体験をし、90分間の活動の中で毛筆の楽しさを体験してもらう。

令和7年8月15日（金）

～17日（日）の3日間

会場 国立オリンピック記念青

少年総合センター スポーツ棟

地下1階「第3体育室」（東京都渋谷区）

募集対象 3才～小学校4年生

の子どもおよびその保護者（保護者同伴必須）

参加費・材料費 無料

定員 各回50人 計300人

スケジュール

8月15日（金）

A 11時00分～12時30分

B 14時30分～16時00分

8月16日（土）

C 11時00分～12時30分

D 14時30分～16時00分

8月17日（日）

E 10時00分～11時30分

F 13時30分～15時00分

申込み受付期間

7月上旬を予定。詳細は4月以降、当会ホームページにて公開。申込みは専用申込みフォームのみにて受付の予定。

※開催内容が変更となる場合あり

令和6年11月28日、定時評議員会にて任期満了に伴う役員等の改選を行った。役員、評議員、役職者は次の通り。

全国書美術振興会 役員改選

令和6年11月28日、定時評議員会にて任期満了に伴う役員等の改選を行った。役員、評議員、役職者は次の通り。

※〇印＝新任

代表理事・会長

田中壮一郎

代表理事・理事長

高木 聖雨

業務執行理事・常務理事

黒田 賢一 ○土橋 靖子

仲川 恭司 ○中村 伸夫

○永守 蒼穹

理事

明石 聰濤 有岡 郷崖

伊藤 一翔 牛窪 梧十

角元 正燦 ○小竹 石雲

高木 厚人 田中 徹夫

長井 素軒 西村 東軒

○室井 玄聳 ○古澤 鐵之

○和中 簡堂

監事

○遠藤 彊 ○宮負 丁香

○山中 翠谷

※任期 令和6年11月28日～令和8年開催予定の定時評議員会の終結時まで

評議員

石澤 桐雨 伊藤 仙游

井上 清雅 井之上南岳

岩田 海道 岩永 栖邨

植松 龍祥 海野 涛山

大澤 城山 大田 鵬雨

大森 括 岡野 楠亭

○鹿倉 碩齋 金子 大蔵

鬼頭 翔雲 佐井 麗雪

笹原 宏之 霜鳥 秋則

鈴木 響泉 田頭 一舟

高橋 利郎 歳森 芳樹

野田 正行 橋本 英明

深瀬 裕之 福光 幽石

○松尾 鴻 松清 秀仙

松下 英風 松村 博峰

真鍋 井蛙 森上 光月

山内 香鶴 山本 高邨

吉川美恵子 吉澤 石琥

吉澤 大淳 吉田 成美

※任期 令和5年11月28日～令和9年開催予定の定時評議員会の終結時まで

名譽顧問

荒船 清彦 井茂 圭洞

○星 弘道

顧問

新井 光風 池田 桂鳳

石飛 博光 杭迫 柏樹

樽本 樹邨 中野 北溟

参事

○真神 巍堂

飯高 和子 石田 雲鶴

市澤 静山 井上 映粧

今村 桂山 尾崎 蒼石

加藤 子華 師田 久子

芝 松翠 清水 透石

師村 妙石 鈴木 一敬

田中 節山 ○辻元 大雲

辻元 邑園 内藤 富卿

中川 裕皓 檜崎 華祥

原田 上 藤岡 都逕

前島 泉洲 宮崎 葵光

村井 虹城 村上 俄山

森川 星葉 八木 山鈴

山根 互清 山本 悠雲

横山 煌平 吉川 蕉仙

※新任の就任日 令和6年11月28日

書美術功労者の顕彰

文化功労者に顕彰された高木聖雨理事長、日本芸術院会員に就任された土橋靖子常務理事、日本芸術院賞を受賞された高木厚人理事の功労を顕彰し、記念品を贈呈した。

近年物故者

令和6年1月以降

次の役員の先生方が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

三神榮軒先生（参事）

令和6年3月14日 95歳

西村自耕先生（参事）

令和6年9月25日 91歳

尾崎邑鵬先生（名譽顧問）

令和6年10月11日 100歳

鈴木春朝先生（参事）

令和6年11月2日 88歳

中林蒨風先生（参事）

令和6年11月7日 93歳

望月和風先生（参事）

令和6年12月12日 77歳

公益財団法人 全国書美術振興会
事務所のご案内

〒107-0005

東京都港区赤坂2-11-1 デルッ

クス溜池山王6階

FAXTEL 03-3568-2071

ホームページ <https://shobi.or.jp/>

メールアドレス info@shobi.or.jp